

事業所向け 放課後等デイサービス評価表

回答者 8 名

チエック項目		改善目標・工夫している点等		改善案		
■ はい	■ どちらともいえない	■ 無回答	■ いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	38%	63%	0%	いいえ	基準上は満たしているが、個々で動きが違うので、工夫して利用している。
	2 職員の配置数は適切であるか	63%	25%	13%		長期休みでは利用者の年齢別で動きが異なる為手分けして支援にあたった。生活介護の基準該当の基準に合わせて行っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	88%	13%			バリアフリーの環境整備がなされている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	13%	63%	25%		ケース検討等で取り上げている。個別支援計画に添って支援しているがPDCAサイクルに関しては不十分な点がある。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	71%	29%	0%		毎年実施して振り返りを行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%	0%			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14%	43%	43%		第三者委員による意見交換会を年1回行い改善に努めている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	13%	13%		積極的に参加している。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14%	86%	0%		アセスメント・モニタリングを定期的に行い計画作成しているがまだまだ工夫が必要である。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0%	38%	63%		標準ツールについては検討中。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13%	75%	13%		ケース検討で取り上げ立案していく。
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	25%	50%	25%		平日はパターン化しているが、長期休みには固定化しないように工夫していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	38%	38%	25%		ケース検討で取り上げ設定していきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	38%	13%		今後も継続して作成していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	63%	38%	0%		役割分担は行っているが支援内容については利用者本人の意向に添って行っている。新規利用者に関しては基本情報の確認や特性の把握に努める。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%		振り返りを行い終了となっている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善をつなげているか	50%	50%	0%		会議等で情報共有をしていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	63%	25%	13%		担当者が細かく記録していく。
	18	6ヶ月に1回モニタリングを行い計画の見直しを行っている。				

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	0% 43% 57%	総則について理解する必要がある。	ガイドラインをまずはスタッフが読み込む。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	75% 25% 0%	児発管が主に参画している。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応・トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100% 0%	常に連携を取りながら支援している。	
22	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	29% 71% 0%	現在対象者がいない。	対象者が出た場合は、整えていく。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75% 25% 0%	必要に応じて情報収集をしている。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	71% 29% 0%	支援会議等で行っている。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	29% 57% 14%	障害者支援センターの療育コーディネーターに参画して頂いている。	必要に応じて今後も参画していただく。
26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50% 25% 25%	スタッフの子どもや公園に行った時等に交流がある。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	25% 50% 25%	管理者を中心に自立支援協議会に参加している。	今後も継続して参加していく。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100% 0%	必要に応じて保護者と連絡を取っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0% 63% 38%		ペアレントトレーニングについて知る必要がある。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75% 25% 0%	契約時に行っている。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100% 0%	必要に応じて相談を受けている。	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13% 25% 63%	今後そのような機会を設ける必要がある。	年1回開催出来るように準備していく。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制をせいびするとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	71% 29% 0%	苦情窓口を設けている。	
34	定期的な会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14% 29% 57%		年1回会報を作成し発信していく。
35	個人情報に十分注意しているか	100% 0%		
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100% 0%	常に心掛けて支援を行っている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	88% 13% 0%	事業所理念にも掲げ地域交流を積極的にしている。	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75% 25% 0%		

関係機関や保護者との連携関係機関

保護者への説明責任等

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	88%	13%		
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88%	13%		
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	29%	71%	0%	同意書はあるが、事例がありません。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	29%	43%	29%	現状ありませんが、家族からの情報提供により、気を付けている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	57%	43%	0%	現在対象者がいない。 ケース検討等で適切な対応を議論している。何でも報告書で共有している。